

リーディングDXスクール事業【実践事例】

幸手市立さかえ小学校

【取組内容③】端末の持ち帰りにより家庭でも利用できる、児童の日常的な心の変化を捉える心の健康観察アプリの開発・活用

概要

「子供達を誰一人取り残さず、その可能性を拡大する」という信念のもと、心の変化を捉える仕組みをICT活用で構築し、**不登校児童生徒**を含めた全ての児童の**心の健康観察**を日常的に実施し、そのデータ活用のシステム化に取り組む。

ねらい

不登校対策は喫緊の課題。ICTで「心のサイン」を素早くキャッチし、そのデータを共有・活用するシステムがあれば、全ての子供の想い・願いを拾えるのでは。

子供・保護者・教員の願いを乗せた「Most likely Plan～心・学びのヨリドコロ～」の実現をねらう。

Before ▶ After



心の状態を一早く察知するシステム構築が急務

端末から心の健康観察を実施

個のデータがExcelで毎日蓄積される

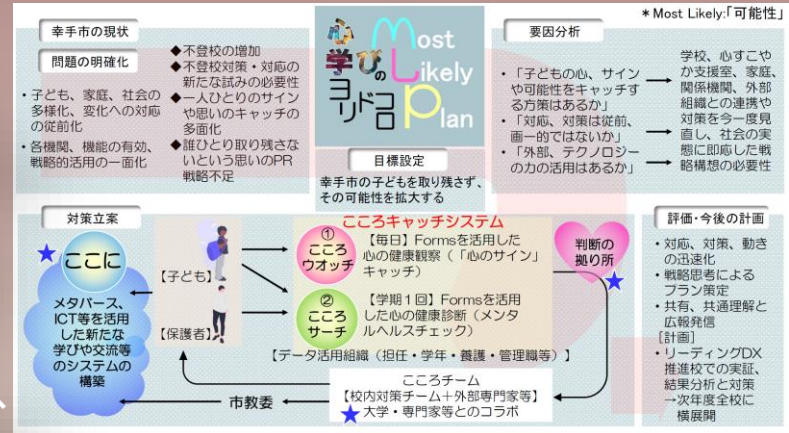
課題・展望

保護者等への周知・啓発を行い、全学年実施及び市内全域に普及展開していく方向である。

メタバースや生成AIを活用することで、更なる可能性の拡大が見込める。次年度の大きなチャレンジである。

校内チーム、保護者、市教委、専門家が一体となり、誰一人取り残さない

変化が激しいときには色付きセルでアラート



成果

確実に子供の声は届いている。「心のサイン」をもとに校内で適切な支援を行い、子供を救うことができた。ICTだから言える・救えることがあると強く実感している。

専門家（大学講師、SE等）の協力も有効で大きな支援となっている。OneTeamで子供をサポートしていく環境が整ってきた。



システム構築に際し、専門家（大学講師、SE等）と何度もセッションを実施。

1年1組		1学期		生徒氏名1			
心の様子	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
番号							
			そわそわ、ちやもや	かなしい、つらい	わくわく、ドキドキ	へとへと、ぐったり	ハッピー！絶対調:
			-5	-20	7	-8	0
6月							

